

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、21人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

(一) 内には、各党派等からの質問申し出時間を記載しています。

党派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	390分
公明党	5人	240分
誠友会	4人	215分
新政クラブ	1人	80分
市民連合	2人	140分
無所属	3人	各30分

*12月定例会の一般質問の録画放送を視聴する場合
各議員記事のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画放送をインターネットで視聴することができます。

また、[福山市のホームページ](#)
→ [福山市議会](#) → [議会中継](#)
→ここからも視聴できます。

芦田川および福山の海の環境整備は



小林 茂裕
水曜会
(60分)



問

①河川(河)の開放の要件は。
②栄養塩の管理運転の実施は。
③生態系の調査および底質改善策は。

答

①現時点で開放する場合は、工業用水の新たな水源確保をはじめ治水対策や塩害対策、濁水対策など多くの課題について国や関係機関などと連携する中で解決する必要があると考える。

②平成26年12月に福山地区水産振興対策協議会からノリの色落ちや漁獲高の減少対策についての要望を受け、翌年より、毎年10月から3月までの間、松永浄化センターなど3カ所で管理運転を試行している。

③広域的に取り組む必要があるため、県が主体となり沿岸市、漁業関係者が連携して栄養塩濃度や底質などのデータの把握と分析を行いながら効果的な施策を検討していくべきものと考えている。



芦田川環境整備の取り組み

鞆のまちづくりは



大田 祐介
水曜会
(60分)



問

①県が6年前に示した山側トンネルおよびオプショ案に基づき、鞆未来トンネル着工などのハード整備が進んでいるが、県、市のこれまでの事業費は。

②今後のまちづくりは観光客と住民生活の共存共栄が大きなテーマとなるが、住民の負担軽減への取り組みの具体は。

答

①鞆地区の地域振興に関する県の全体方針に基づき、県と市が連携してさまざまな事業を進めている。令和5年度末までの執行予定額は県、市を合わせて約195億円となる。

②鞆未来トンネルの開通により町なかから通過交通を排除することが期待されている。加えて、東側交通交流拠点に駐車場を設け観光車両の流入を抑えることで交通混雑による住民の負担軽減を計画している。東西交通交流拠点の整備により住民にも散策する観光者にも安全で快適な環境を創出する。



着物姿が似合うまち鞆の浦